

造園樹木の植栽に使用する支柱に関する次の記述A～Dのうちには妥当なものが二つある。それらを選んでいるのはどれか。

- A. 布掛け支柱は、寄植えや植込みに使用されており、取り付けに際しては、樹木を相互に連ねて丸太や竹を水平に渡して結束する。
- B. 添え木は、高木類を支えるのに適しており、取り付けに際しては、樹木の幹に添えて丸太などを地中に十分挿し込んで立て3箇所ほど幹に結束する。
- C. 鳥居型支柱は、街路樹に多く使用されており、取り付けに際しては、丸太の元口を下にし、丸太と丸太の接点をくぎ打ちで鉄線掛けとする。
- D. 八つ掛け支柱は、低木類を支えるのに適しており、取り付けに際しては、3本の丸太を、樹木の高さの半分地点に、高さを揃えて幹に結束する。

- 1. A, B
- 2. A, C
- 3. B, C
- 4. B, D
- 5. C, D